



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒

<No. 4> 令和7年7月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13
TEL 048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

校歌を通して愛校心を育もう

校長 小倉 弘一

私は白幡中の校歌が大好きです。テンポが良く、心が弾むようです。特に、「朝日かがよう白幡の岡にみどりの風うけて」という出だしは素敵だと感じています。「かがよう(耀う)」とはキラキラ光って揺れ動くという意味です。何とも美しい日本語です。爽やかに吹く風の柔らかい印象を「みどりの」と視覚的に表現するあたりは、とてもお洒落で白幡中らしさが出ていますね。

2	1
夕月うつる 白幡の 沼に浮寝の 水鳥も 青雲こえて 天かける 高い大きい 夢をもつ 我等の力で 洋こえて 平和と自由の よろこびに あふれる世界を ひらくの	朝日かがよう 白幡の 岡にみどりの 風うけて そびえる学舎の この窓に ひらく希望の 若い夢 育てて学んで 富士の嶺 仰ぐ文化の よい都市を 浦和の里に 築くのだ

本校の校歌は昭和25年(1950年)に制定され、約75年間に渡って歌い継がれ、地元の皆さんに愛されています。本校では、毎朝の登校時に男子生徒の歌声で、毎夕の部活動終了時に女子生徒の歌声で校歌が放送されます。

ここで、作詞と作曲を手掛けられたお二人を簡単に紹介します。

作詞者：下山 懋(しもやま つとむ) 氏

1890年に川越市に生まれた教育者で国文学者、作詞家。埼玉師範学校(現 埼玉大学)と東京帝国大学(現 東京大学)に学び、埼玉県内の高校等に勤めました。さいたま市内の多くの学校の校歌を作詞しました。

作曲者：下總 皖一(しもおさ かんいち) 氏

1898年に埼玉県加須市に生まれた作曲家・音楽教育者。埼玉師範学校(現 埼玉大学)や東京音楽学校(現 東京藝術大学)、ベルリン芸術大学に通いました。



学校運営協議会で地域の方々にも
新制服の候補を試着していただきました

実は、下山氏と下總氏のお二人が作詞作曲した校歌は全国に多数あり、さいたま市立中学校だけでも、本校の他、原山中、桜木中、三橋中、与野東中、岩槻中の計6校、小学校は12校に及びます。

これからも、本校の伝統を心に刻みつつ、校歌を大切に歌い繋げて、愛校心や地元愛を育みましょう。

